

# 令和4年産 水田リノベーション

予算額が増えるがポイント制度で協議会毎の競争補正予算のために3月末までに事業完了 **要注意!**

## 生産者通信

（株）エコ・ライス新編  
定価 100円(送料込)

② ① 取組面積の拡大取  
同組取組の場合、選  
い取組を3つ以上  
合は、昨年度選択し  
継続して申請する場  
合は、昨年度選択し  
いない取組を3つ以上  
選取の必要がありません

○昨年よりも  
進化が条件

水田リノベーション  
事業は、低コスト生産  
等へポイントの高い協  
議会から採択されます  
生産者の個人戦では  
なく団体戦です。です  
ので、令和3年に採択  
されても令和4年では  
協議会毎不採択になる  
可能性もあります。  
不採択の場合は、通  
常の輸出米（新市場開  
拓米）、加工米で対応  
（金額が違）となり  
ます。

### 新市場開拓米

規格	10a
輸出米	4万円
酒米	3万円
加工米	3万円
1万円の減額に。	

新市場開拓米は減額  
となります。  
又、新規の複数年契  
約での支援はなくなり  
ます。  
（2〜4年、3〜5年  
の複数年契約は別途減  
額して救済措置がある  
可能性あり）  
水田リノベーション  
を希望される方は、  
「令和4年作付け希望  
届」に記入してくださ  
い。

○加工米は減額

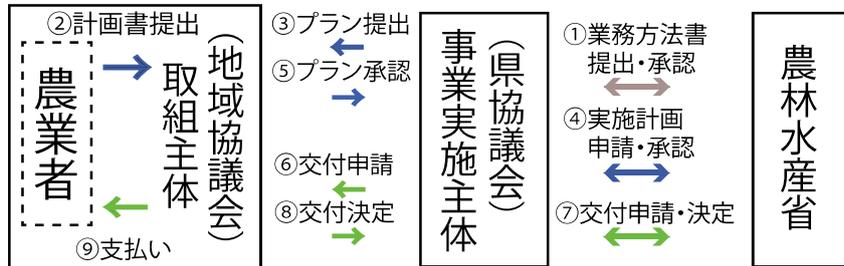
※例えば、一般栽培か  
ら特別栽培に変更。  
申請は協議会毎により  
期日が変わりますが、  
おおむね2月中旬には  
生産者から申請となり  
ます。

### 【水田リノベーション】

1. 加工用（酒米）
2. 輸出用（輸出米）
3. 加工米

生産者から地域協議会へ  
申請が必要です。  
(様式 4-6-1)

### 【事業実施の流れ 低コスト生産等の取組支援(面積支払い)】



## 種粃・肥料 申し込み

令和4年産肥料は追加等はできません

期中価格が上がる可能性あり

1月14日  
(金)×切  
ですので  
お忘れなく!



### 資材コスト 生産率の用意する証書

提出を  
求められます

- 農作業日報
- 材料等の購入伝票等
- 作業風景の写真

# 全国急増中 フィッシング詐欺被害体験記

光と影～連載その3～



## ○サイバー犯罪 対策課が担当

詐欺の指摘を受けて坂西弁護士に相談したところ、「すぐに警察に届けなさい」との指導で、長岡警察に電話で相談したところ、「県警本部のサイバー犯罪対策課が担当となります」と驚きの回答。翌日に長岡警察に使用したスマホ、パソコンを携えて赴くとなんと専門官3名が3時間近く事情聴取。会社のパソコンのログ(履歴)も調査したとのことで、翌日に来社することに。

## ○詐欺の 被害者は誰?

被害額としては小さいのですが、サイバー対策課のすばやく詳細な対応にこの重大さが伝わりました。

被害者だと思っていました。しかし、サイバー対策犯罪課によると、詐欺の被害者はポイントで買物物をされた店。当社は不正アクセス防止法違反の被害者ということでした。

## ○アカウントは 絶対に教えない

今後はメルカリ詐欺が増える可能性があります。詐欺グループは国境を越えて最新のテクニックを駆使して騙してきます。メルカリは素人が手軽に売買をできるのでも騙しやすい市場です。騙されないためには、アカウント等の情報管理が必要です。

新潟県警のホームページにも注意喚起しているのでもう一度熟読してください。よほどな事がない限りアドレスからサイトへログインしてはいけません。ネットから検索をしてログイ

**サイバー犯罪対策 【新潟県HP】**  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kenkei/cyber-index.html>

## ○スマートフォンから 誘導する詐欺も続出



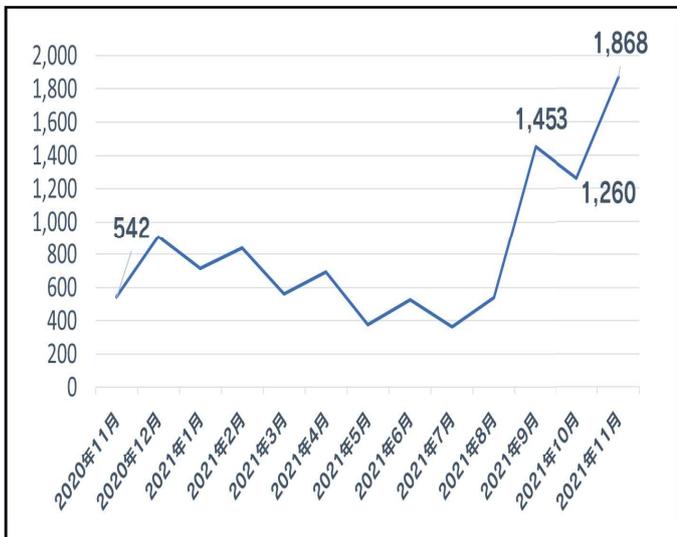
wikipediaより あぼさー - 投稿者自身による作品、パブリックドメイン <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=44285389>による

フィッシング詐欺とは送信者を詐称した電子メールを送りつけたり、偽の電子メールから偽のホームページに接続させたりするなどの方法で、

常に関心と警戒意識を維持することが大切です。手軽さが裏目に出て第三者に不正ログインされたのちに、不正利用されてしまう可能性がありますが高まります。

## 詐欺ウォールで調査したECサイト事業者をかたるフィッシングサイト数(月次比較)

↓オンラインセキュリティ公式サイトより



クレジットカード番号、アカウント情報(パスワードなど)といった重要な個人情報を盗み出す行為のことを言います。最近では、電子メールの送信者名を詐称し、もっともらしい文面や緊急を装う文面にするだけでなく接続先の偽のウェブサイトを本物のウェブサイトにほとんど区別がつかないように偽造するなど、どんどん手口が巧妙になってきています。ひと目でフィッシング詐欺では

あるとは判別できないケースが増えているので注意が必要です。さらに、最近ではスマートフォンでも電子メールからフィッシングサイトに誘導される手口が増えており当社のメルカリネット販売ページも被害に合いました。ネット詐欺に騙されないために、常に平常心を保ち「何かおかしいかもしれない」と疑う心を身につける第三者に意見を聞いてみて似たような事例がないか確認してみましょう。